

愛媛で創業支援手厚く

アドバイザー 5カ所に配置

県信用保証協会

県信用保証協会は2017年度から県内の全5カ所の窓口にて創業アドバイザー6人を配置し、創業支援を強化している。

県が愛媛で創業しようとする人を対象に運転・設備資金の保証料を全額補助する制度を実施したのに合わせて展開。中予を業務区域とする松山事業部に2人、新居浜、今治、八幡浜、宇和島の4支所に各1人が配置されている。

従来は、窓口の保証担当者が創業支援を行っていたが、中小企業診断士などの資格を取得した職員らが受け持つことで、創業前の計画策定から創業後のフォローまで対応する。

県の制度を含め4～6月の創業保証制度の利用は49件（前年同期比17件増）。協会は「地方創生に向け、国などが創業率の向上に取り組んでおり、伴走して支援していきたい」としている。

（丸岡裕美）

計画からフォローまで伴走 松山事業部・三神さんに聞く

県信用保証協会が配置した創業アドバイザーの三神雄哉さん

7月下旬、松山市一番町4丁目



県信用保証協会が新たに配置している「創業アドバイザー」。中予を担当する松山事業部の三神雄哉さん(34)に支援内容や今後の展望などを聞いた。

（聞き手・丸岡裕美）

支援内容は、

創業前の相談から創業計画の作成支援、融資に関する金融機関との調整、保証業務などを行う。松山事業部では4月以降、約35件の相談を受けた。

対応の具体例は、

昨年の夏ごろから「自分の作品を世に出したい」と相談があったケースでは、どんな製品にするか、価格はいくりにするか、

収入にどう反映させるかといった計画を考えてもらうことで創業に至った。

自分のやりたいことが明確な人もいるが、ぼんやりとしたイメージしか持っていない場合も多い。（国に提出する）開業届

出書など必要な手続きを含めて支援する。漠然とした思いでも相談してほしい。

創業後のフォローは、

資金調達から人材確保、組織整備まで企業が発展する過程

「今後の取り組みは。創業アドバイザーが県内の事例を共有し、支援方法を考える。創業を増やせば新たな事業が生まれ、雇用の受け皿になるかもしれない。地域の活力が高まる。創業者が成長し、企業が発展していけるようなサポート態勢をつくりたい。」

で課題が変わる。創業後も訪問を重ね、現状について聞いていく。

用意周到に介護関係の事業を立ち上げた人がいたが当初、見込んでいたほど仕事の紹介がなく、売り上げが上がらないとの相談が寄せられた。質問を投げ掛けていくうち「盲点だった」という身近な所に紹介してくれる協力者がいる点に気が付き、仕事が増えて利益が出た例もある。

つまづいたことに気が付けるかが大切。半年後、1年後の収支計画を策定し、達成できていなければ対策を打てるようにする。

みかみ・ゆつや 1982年松山市生まれ。松山大卒。2005年県信用保証協会、中小企業診断士。